

コロナ禍の3年間。「不安、不信をやわらげ、命を守るために何ができるか」そして、いま。「これからの葉山、子どもたちが帰って来たくなる未来創り」



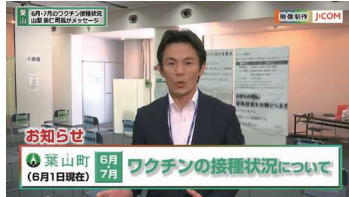
2025年1月、葉山町は町制施行100周年を迎えます。

2020年から2023年まで町政報告です

2020年春、未知の感染症災害に向き合い、コロナ禍対策

大規模事業をすべてストップ。全庁コロナシフト。感染拡大に備えた事業継続体制にシフトし、リモートワークなどで業務を止めない体制を構築しました。その背景には逗葉医師会をはじめ、多くの医療関係者に知見をいただきました。

また、町内外、たくさんの方々から不足したマスクや消毒液、抗菌加工処理や寄付金などのご支援をいただき、保育園、老人ホーム、学校などに、マスクなど物品配布ができた事で、運営することができました。葉山の力を下さった皆様、心から感謝申し上げます。



※ワクチン接種フローを無償撮影協力して下さった JCOM 湘南様より

2021年7月、毎日ワクチン接種会場へ。総出でニーズに迅速に答えよう

緊急事態宣言、まん延防止措置など、誰も経験したことない社会不安の中、ご自宅にいるしかできない高齢の方々の支援が最も難しかったです。感染防止の配慮をしながらお元気でいられるよう、75歳以上の皆様全員に「役場を頼って」とお手紙を送り、細心の注意を払いました。

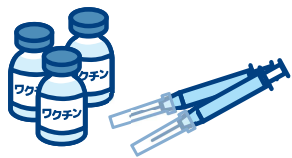
特に2021年7月からのワクチン接種事業には連日、私自身も接種会場に入り、職員、医療関係者総出で接種業務。そして業務後には翌日への改善ミーティング→実践→また



改善。と、まさに手探り。ワクチンのみならず様々な対策、対応に試行錯誤を繰り返しながら、町民の皆様の期待に応えたい。それだけでいっぱいでした。

こんにちは、 副役場の山梨です。
 新型コロナウイルス 感染防止のための外出自粛が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
 長らく不安の日々が続いていますが、このたびはお身体の具合、健康状態を伺うべくアンケートをお送りしました。
 他に暮らしのこと、ご家族のことなど、ご相談されたことがお多かったです。ぜひ記入のうらみ、お知らせください。お待ちしております。
 ご相談窓口の地域包括支援センターの連絡先、また自宅での身体運動のサポート、認知症を正しく理解するためのパンフレットも同封してあります。ご活用ください。
 また希望のもし、おんだり集まって笑顔でいらぬ日を心から楽しみにしています。

令和 2年5月
 葉山町長 山梨 崇仁



2021年~23年、先の見えない負担増。3度の「つつじカード」

未知のウイルスに重ねて戦争や紛争など、世界情勢の不安定と経済・物価を巡る不確実性が極めて高くなっています。コロナ禍の経済対策と物価高騰対策としても様々行いましたが、特に2023年までに3回目のキャッシュレスカード計16,000円分は町単独で全町民の皆様一人一人に配布することができました。今も私たちのさまざまな身の回り品さえ物価高になり、いまもって暮らしの負担は増す一方です。わずかな気持ち程度かもしれませんが、私たち役場はいつもそばにいると覚悟を示しています。



2020年、コロナ禍で進むIT化と教育を見つめ直す子どもたちの学び、文化、スポーツ、遊びを止めないギガスクールと施設開放の継続

約1億8,400万円の投入。小学生から中学生まで全ての生徒にタブレット端末を各一台用意しました。また、感染拡大の中では、ご批判もありましたが校庭の放課後開放、図書館の貸出し機能も継続しました。学び、文化、スポーツそして、遊ぶ。子どものエネルギー発散と貴重な成長の機会を奪わないよう、できる限りの機会創出を進めました。子どもはいつも未来への希望です。



中学校給食の開始と一時無償化無添加調味料で食の安心・ストローの生分解化

「You are what you eat.」食が人の源。成長の身体には、特にやさしい食を提供したい。全校の給食の調味料である塩や砂糖などには極力オーガニックな自然由来のものを使うように。また、牛乳ストローも合わせて生分解性のものを導入し、自然にも人にもやさしい食を実現しました。また、長年、多くの保護者の皆様の願いでした中学校給食は2023年春からようやく始められました。コロナ禍にあつては2年連続で一時給食の無償化を実施してきました。



災害対策も同じやれることはすぐやろう

2019年の台風15号・19号の停電や風水害被災は私たちに大きな教訓を残しました。すでにその対策として避難所への太陽光パネル設置やスマートフォンの充電タップなど、電気確保策は綿密に用意してあります。また、当時課題となった災害ごみの収集も処理計画を策定し対策済みです。2022年には神奈川ビッグレスキューを実施し、全县の力が葉山に集約する訓練も成功。徹底した災害への備えで、心の安心を提供できるまで目指します。

はやまエシカルアクションがスタート。環境先進都市です

2019年から葉山クリーンプログラムとして公共施設におけるペットボトルの販売中止などしましたが、2022年はその次のステップとして、事業者の皆様に協力していただく「エシカルアクション」をスタートしました。葉山の環境貢献活動とその高い意識はジャパンタイムズ社のサステナブルジャパンアワードにも優秀賞にランクされ、全世界に配信されています。

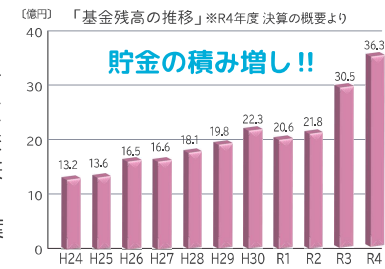


財務改善と行政効率化による経常収支比率の改善に成功 公共施設の再整備、大規模事業推進を国や県の繋がりで確実に推進

町長職に就任してから12年、**借金は約20億円削減、貯金は約20億円積み増し**しました。財政改善は最優先課題でしたが、役場組織の財務体質と資金に対するコスト意識が大きく転換できた成果だと考えます。



これからは公共施設の再整備が迫っており、大規模支出を見込んでいます。頭金は作りましたので、国県の補助金と一定規模の借入れを起こします。けれども、物価に合わせた利用料の値上げは避けて通れません。受益者負担をいたしながら、将来への負担の公平化を図りつつ、円滑な施設の更新、100年の葉山の未来創りへ役立てます。



コロナで人に会えない、ならばできることをしよう 2022年3月、老朽化施設の調査と改善のとりまとめを完了

コロナ禍の成果は行政内部で様々な議論が行えたこと。調査も行き、最大の課題、公共施設再整備に向き合う調査や方針を明確にしました。これからは町民の皆様、小規模施設においては当該地域の皆様と直接議論し、具体的な実施策を令和7年春までに明確にしていきたいと思います。

※公職選挙法により、本討議資料はこれまでの町政報告として発行しています。